

【別表1】

<回線別利用可否一覧>

回線分類			利用可否	備考
一般	アナログ	NTTアナログ	○	
	デジタル	ISDN	○	
IP電話	光	NTTひかり電話・auひかり電話・ソフトバンク ホワイト光電話 UCOM光電話（アルテリア・ネットワークス）・eo光電話（ケイ・オプティコム）	○（※1）	
	050IP	フレッツADSL・Yahoo BBフォン	○（※1）	
	CATV	J:COM PHONEプラス電話・KDDIケーブルプラス電話	○（※1）	
	直収	KDDIメタルプラス（※2）・ソフトバンクおとくライン	×	モデムがない
	携帯電話網	KDDIホームプラス	×	電話から専用アダプタへはモジュラで繋がっているが、専用アダプタから住戸の壁等のモジュラジャックへのケーブルが何もない（AC電源のみ）

※1 IP電話については、本体機器（通報機器）を設置する住宅により、通話品質レベルが異なることがあり、そのレベルにより本体機器の設置はできても通信ができないことがあるため、まれにサービス利用不可となる場合がある。

※2 KDDIメタルプラスは、平成28年6月末をもって提供を終了しており、KDDIホームプラス等へ移行している（KDDIホームプラスは緊急通報装置 利用不可）。

<回線以外の要因による利用可否一覧>

その他のタイプ	利用可否	特徴・備考
600号型電話（黒電話）	×	モジュラジャックがないため見守りサービス利用不可（モジュラジャックの設置には別途工事が必要）
大阪ガス「るるるコールM」	×	主に関西地区 ガス消し忘れ自動通報や自動遮断を行うサービス。電話回線方式による通報のため緊急通報装置 併用不可
高齢者向け特別改善住宅等に設置される「自動通報装置」	△	NTT回線を利用してあらかじめ電話機に記憶させた連絡先に、緊急時にボタンひとつで通報できる装置 干渉する可能性があるため原則として不可（ただしIP電話等により当該装置を利用していない場合は加入可とする）。
電話機能付インターホン	×	誤作動の可能性があるため原則として不可。
ビジネスホン	×	主装置から電話機が複数接続、電話の保留転送ができ、内線と外線を切り替えて使用（外線ボタンがある、0発信等）。ほとんどがレンタル品のため、緊急通報装置の利用不可